

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<21年度の取組>

◆急性期・総合医療センター

- 救命救急センターの体制を強化し、救急患者の受入れを拡大
(三次救急新入院患者の受入れ 21年度実績1,829件 前年度実績1,602件)
- 糖尿病・生活習慣病センターを開設、糖尿病外来、生活習慣病外来、緩和ケア外来、睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来などの専門外来を開設
- がんの診療拠点としてがん治療患者数の拡大
(21年度6,665人 20年度6,031人)

◆呼吸器・アレルギー医療センター

- 感染症法に基づく結核入院勧告患者受入れ(21年度364人 20年度238人)
- 肺がんの早期発見から治療までの一貫した診療
(肺がん退院患者数 21年度1,212人 20年度1,080件)
- 呼吸器看護専門外来での在宅酸素療法患者への支援
(呼吸器看護専門外来の利用件数 21年度641件 20年度556件)

◆精神医療センター

- 自閉症確定診断の待機患児の解消
(待機患児数 21年度末現在353人 20年度末現在618人)
- 訪問看護の拡充(21年度4,651回 20年度4,064回)
- PFI法に基づく病院施設の建替え事業者を決定(平成24年度開院予定)

◆成人病センター

- 難治性がん患者に対する手術、放射線治療、化学療法等の選択・組合せを行う集学的治療の充実

手術	21年度	769件	20年度	767件
放射線治療	21年度	29,224件	20年度	27,376件
うち、IMRT	21年度	2,447件	20年度	1,626件
外来化学療法の1日当たり件数	21年度	54.3件	20年度	52.9件

* IMRT(強度変調放射線治療):放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法

◆母子保健総合医療センター

- 高度専門医療として3歳未満の開心術を実施(21年度79例 20年度75例)
- 患者に負担の少ない医療の提供として、RIST法を実施
(21年度36例 20年度26例)
* RIST法:白血病における全身放射線照射や抗癌剤の大量投与を要しない造血幹細胞移植法
- 入院している子どもの在宅療養への移行を推進
(在宅療養指導管理料算定実患者数 21年度767件 20年度677件)